



まちづくりニュース

平成27年3月 発行：大門・本町通りまちづくり委員会

1. 大門・本町通りまちづくり委員会第13回委員会が開催されました。(平成27年2月16日〈月〉)

大門・本町通りまちづくり委員会第13回委員会が平成27年2月16日(月)、18時30分からオフィスNにて開催され、以下の通りに進行されました。

第13回 大門・本町通りまちづくり委員会
日時：平成27年2月16日(金)18:30

次 第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 協議事項
 - (1) 歩道について(アンケート報告)
 - (2) 質疑応答
4. ビジョンづくりセミナー
5. その他
6. 閉 会

3. 協議事項

(1) 歩道について(アンケート報告)

昨年より検討をしておりました融雪歩道についてのアンケートの報告があり融雪歩道の設置は下記になりました。

- 「a. 融雪歩道への負担があっても融雪歩道を要望する」・・・18名
- 「b. 融雪歩道への負担があるなら融雪歩道はほらない」・・・5名
- 「c. どちらでも良い」・・・5名 「その他」・・・2名

「b」の方が5名いるため、融雪歩道を進めて行く事は難しいのではないかという意見も出て、融雪歩道の要望を取りやめる事となりました。

協議の中ではもう少し負担金額が少なくすることは出来ないか？駅前には県で負担しているのに、なぜ今回はダメなのかとか？などのお話も出ました。委員会としましても、事前に県会議員の方に負担金額の縮小を相談したり、町内会、商店会の負担のお願いも相談しましたが、時節柄難しいとのことでした。



融雪歩道について

住民負担の個別振分け方法(案)

歩道面に接する宅地面の間口による振分け方法
間口合計は北側、南側合わせて約713m

1mあたりの負担金額

住民負担	間口合計	1mあたりの負担金/年
1,254,000円	÷ 713m	= 1,758.8円

月々の負担金額(12ヶ月)/1m

1mの負担金/年	1mあたりの負担金/月
1,758.8円	÷ 12ヶ月 = 146.6円

降雪量、電気量の増大を加味
1ヶ月の負担金額 /1m **150円/1m**

1年間の合計金額

150円 × 713m = 106,950円

106,950円 × 12ヶ月 = **1,283,400円**

ご意見欄

融雪歩道について下記項目の設問についてa~dの該当するものに○をつけて下さい。

- a. 融雪歩道への負担があっても融雪歩道を要望する。 **18名**
- b. 融雪歩道への負担があるなら融雪歩道はほらない。 **5名**
- c. どちらでも良い。 **6名**
- d. その他 **2名**

ご意見ございましたらお願いします。

a. 町内会費の値上げもままならない状況で、新たな負担となると難しいところもあると思います。県や市の負担をもっと大きくしてもらうなど、値段の縮小ができませんのでしょうか。払えない人が出て来る問題もあり、集金のことも考えて、決して無理しない方がいいと思います。

b. 歩道ができて、以前みたいに除雪の雪が家の前にたまらないのであれば融雪は要らないと思う。現状、給人町の家では歩道の雪は問題になっていない。もし融雪にするにしても、個人で負担するのではなく、商店会あるいは町内会等でまとめて負担したほうが、集金、空き家等の問題もなくなるのではないと思う。

b. 土地所有だけです... (店舗展開の予定がないもので)

d. 間口の大小により、極端な費用負担の差が生じるこの方式では反対です。歩道といえども、公道であり公平な受益者負担の原則からみれば、単に県道に面している長さが長いからの理由で、公道の融雪電気料を過大に負担させるのは不条理だと思います。間口が長くて、利用する長さは夫々大同小異だと思います。(ましてや非店舗に於いては...)

d. 融雪歩道は要らない。融雪溝が必要。金を掛けずに、道に雪が無い様にする、除雪で雪は無くならない。歩行者が見えにくいのが一番危険。

街路灯について

街路灯の①街路灯のタイプ（電力量W）について、②一括制御方式か単独制御方式のどちらにするか、③街路灯の配置については、すべて委員会の提案で承諾を頂き、この提案で進めていきます。

街路灯について

街路灯は、大門交差点付近と同タイプのデザインでLED電灯の施工を予定したい。電気料は商店会で負担します。既存より少ない街路灯の本数の予定です。

街路灯は商店会が設置する(県からは既存の街路灯の補償費のみ)

- ・市の補助や助成金などを活用予定
- ・歩道施工時に施工する予定



①街路灯のタイプ(電力量W)について
相当のLED電灯200W～150W水銀灯
大門付近と同じデザインのLED電灯を
委員会の提案とします。

②一括制御方式か単独制御方式のどちらにするか
工事費などを考慮し単独制御方式を
委員会の提案とします。

③街路灯の配置位置について

ご意見欄 街路灯について下記項目の設問についてa.～d.の該当するものに○をつけて下さい。

①街路灯のタイプ(電力量W)について

- a. 街路灯のタイプは委員会の提案で良い。 **26名** c. どちらでも良い。 **1名**
b. 街路灯のタイプは委員会の提案とは別のタイプがよい。 **0名** d. その他(店舗前は必要ない) **1名**

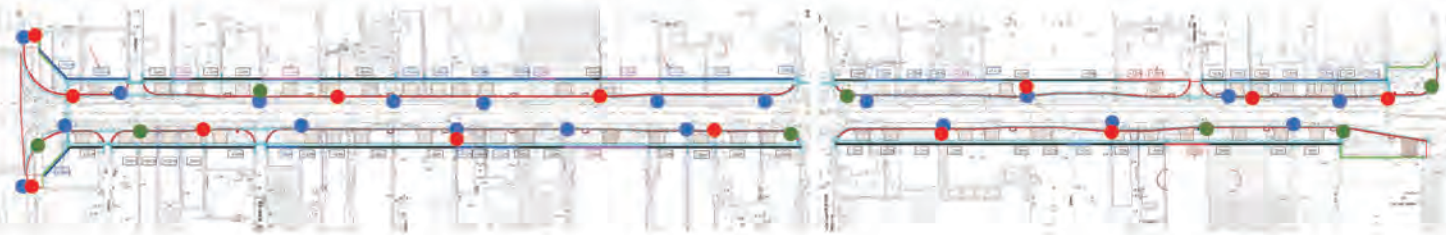
②一括制御方式か単独制御方式のどちらにするか

- a. 制御方式は単独方式で良い。 **22名** c. どちらでも良い。 **4名**
b. 制御方式は一括方式でよい。 **2名** d. その他 **0名**

③街路灯の配置位置について

- a. 配置位置は委員会の提案で良い。 **24名** c. どちらでも良い。 **2名**
b. 配置位置は他のほうが良い。 **0名** d. その他(店舗前は必要ない) **1名**

● 既存街路灯 ● 街路灯設置予定箇所 ● 道路照明灯設置予定箇所



植樹マスの設置について

植樹マスの仕様に関しては、ツリープロテクターによる歩道面との段差の無い植樹マスで承諾を頂きました。

植樹マスの設置については、今後作成する歩道図面に植樹マスを落とし込み検討していく事としました。その他のご意見として、植樹はいらぬ等のご意見も頂いておりますが、歩道図面が出来ましたら、再度植樹マスの有無を確認いたします。

植樹マスの設置について

歩道上には電線地中化や街路灯の分電盤が付きます。そのため設置できる場所が限定されてきます。設置場所を図面に落とし込み再度提案いたします。

植樹マスの設置は、歩道図面が完走した後に設置場所を確認し判断する。図面上は施工予定で作成する。

排雪により植樹マスの破損がありツリープロテクターによる枠の段差がない植樹マスを提案いたします。



植樹マスイメージ

ご意見欄 植樹マスの仕様について下記項目の設問についてa.～d.の該当するものに○をつけて下さい。

- a. 植樹マスの仕様は委員会の提案で良い。 **16名**
b. 植樹マスの仕様は委員会の提案とは別のタイプがよい。 **0名**
c. どちらでも良い。 **4名**
d. その他 **5名**

- ・植物はいらぬ。 ・植樹が必要ない。
- ・店舗前に必要としない。 ・街路樹は無いほうが良い。
- ・植樹そのものが不要、メンテ費用や清掃の手間、除雪、交通の妨げとなりデメリットの方が大きい。近くに公園がいくつもあり、各家庭の庭もありこれ以上の緑化は不要である。
- ・植樹は、低木、花木 例)ナナカマド、サルスベリ、ザクロetc...とする。

ポラードについて

ポラードについて、①ポラードの間隔について、②LEDソーラータイプの設置場所については、両提案とも委員会の提案で承諾を頂きました。協議の中では、歩道の歩行者部と自転車部の境界の一部にLEDタイプのポラードの設置はどうか？という提案を頂きました。今後、由利地方部へ提案していきます。

ポラードについて

ポラードは今後のイベントなどの使用での歩車道一体の利用を考え、着脱式のポラードを採用していきます。一部LEDタイプとなりますが高価なため固定式となります。

①ポラードの間隔について

- ・2m間隔は、誤って車が45度の角度で入ってきた時でもぶつかる間隔。(止めることはできない。)
- ・由利橋通りの間隔は、1.7m程度
- ・着脱式は各宅地の出入り口部分を除いたところに設置する。

着脱式ポラードは2m間隔を委員会の提案とします。

②LEDソーラータイプの設置場所について

固定式のため設置場所は、市道の出入り口、交差点付近を委員会の提案とします。



ご意見欄

①ポラードの間隔について

- a. ポラードの間隔は委員会の提案が良い。 **21名**
- b. ポラードの間隔は委員会の提案とは別の方が良い。
- c. どちらでも良い。 **3名**
- d. その他 **1名**

②LEDソーラータイプの設置場所について

- a. LEDポラードの設置場所は委員会の提案が良い。 **19名**
- b. LEDポラードの設置場所は委員会の提案とは別の方が良い
- c. どちらでも良い。 **4名**
- d. その他 **1名**

・店舗前、駐車場入り口前は必要としない。
 ・車の出入りがある部分も多いので、各自の希望を聞いて欲しい。
 ・全て着脱式に、(イベント広場、工事、消火活動、災害復興活動など) 固定物は避ける。ベンチ。花ボックスなども可動式に。

インターロッキングについて

インターロッキングについては、融雪歩道を要望しませんので、段差の少ないゼロインターを進めていきます。インターロッキングの模様デザインは、歩道図面が出来ましたら提案いたします。

インターロッキングについて

通常4.5m幅の歩道の内、2mを歩行者用、2.5mを自転車用とし舗装面の素材で区分する。歩行者面はインターロッキング仕様、自転車は黒のアスファルト舗装の仕様とします。

インターロッキングの素材は融雪歩道を施工することになると、ランニングコスト抑えるためにより熱伝導率の高い素材に変更した方が良いと思われます。(今後由利建設部へ提案してきます。)

カダレ付近のインターロッキング素材と同素材の物です。



ゼロインター



ご意見欄 歩道のイメージ、インターロッキングの素材についてご意見などお願いします。
 ・あまり凹凸の無い平坦なものがよいです。お年寄りがつまづいたり、劣化によりデコボコしないものが良いです。
 ・歩道は、後の工事が楽なもの、色は街路灯の光を反射し、夜間も明るい歩道にする。
 駐車場に塀や柵を立てて街の連続した風景にすると意見があったが、町に出て来た老人の運転する軽トラックと、歩道をはる高校生の自転車と出会いがしらの衝突事故が起こる。駐車場の自転車の出入口は見通しの良い安全第一の場所にしたい。

ビジョンづくりセミナー

全国商店会支援センター、本町通り商店会のご協力を頂きビジョンづくりセミナーを行いました。全3回コースのうちの仕上げの3回目となりました。(1回目平成26年12月22日、2回目平成27年1月19日)

佐瀬講師のご指導の元、第1回目のセミナーでは大門・本町通りの現状の確認、2回目のセミナーでは個々に大門・本町通りの未来を描きました。そして今回は2班に分けてそれぞれが「大門・本町通りのビジョン」を作成いたしました。A班は「すてきな街へようこそ」というタイトルで、【住みたくなったら】、【歩きたくなったら】、【買いたくなったら】、【集まりたくなったら】と四つの項目に分けてビジョンを作成いたしました。B班は「町と街をつなぐまち、人と他人(ひと)をつなぐまち」というタイトルで地図を使って商店街に出店してほしいお店など落とし込み、街並みをイメージして作成しました。スーパー銭湯、総合病院、マンションなどがあり賑わいある街並みとなりました。

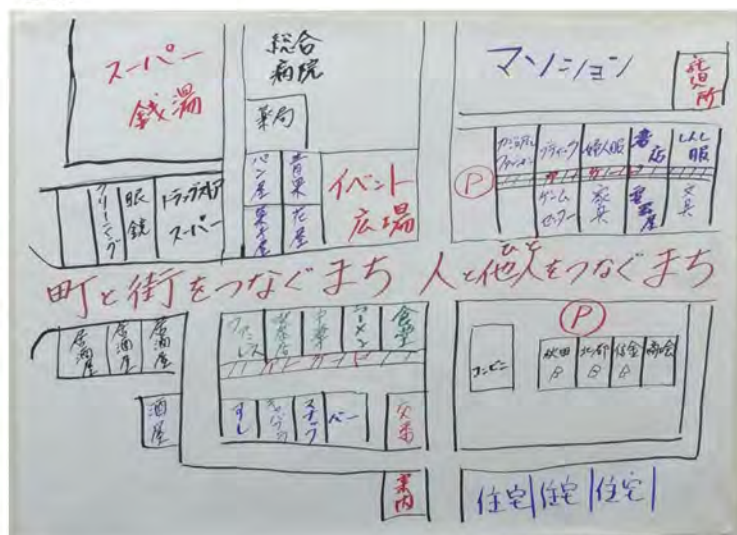
今回のビジョンづくりセミナーによって、住民や商店の方が一緒となってまちづくりビジョンを考える機会がもてたことは非常に良かったと思います。委員会としましても、このビジョンが少しでも現実になるような取組みをしていきたいと思います。



A班



B班



今後の予定

由利地域振興局 建設部としては、平成27年度、28年度で西裏尾崎町側の用地補償を進めていきます。住宅・店舗の移転・建替えが進む予定です。そして用地補償終了後に、西裏尾崎側の道路施工に入る予定です。道路施工の進捗状況を見ながら、東裏尾崎町側の建物調査に入る予定です。

大門・本町通りまちづくり委員会としましては、27年4月16日(木)に26年度総会を開催する予定です。平成26年度決算報告、27年度活動予定などの報告と、講演なども予定しています。

ご参加よろしくお願いいたします。